

伊豆東部火山群

○概況 (平成 18 年 1 月)

25～27 日にかけて地震が一時的にやや増加しましたが、火山活動に特段の変化はなく、その後は静穏に経過しました。

○地震及び微動の発生状況

25 日 20 時頃から伊豆半島東方沖の川奈崎付近、深さ約 10km を震源とする微少な地震がやや増加しました。最大地震は 26 日 12 時 46 分に発生した M (マグニチュード) 1.1 (暫定) で、この地震を含め震度 1 以上を観測した地震はありませんでした (図 1、図 2)。その後は静かな状態になっています。火山性微動及び低周波地震は観測されませんでした。

この付近では過去にもしばしば地震活動が活発化しており、今回の活動は規模の小さなものでした。

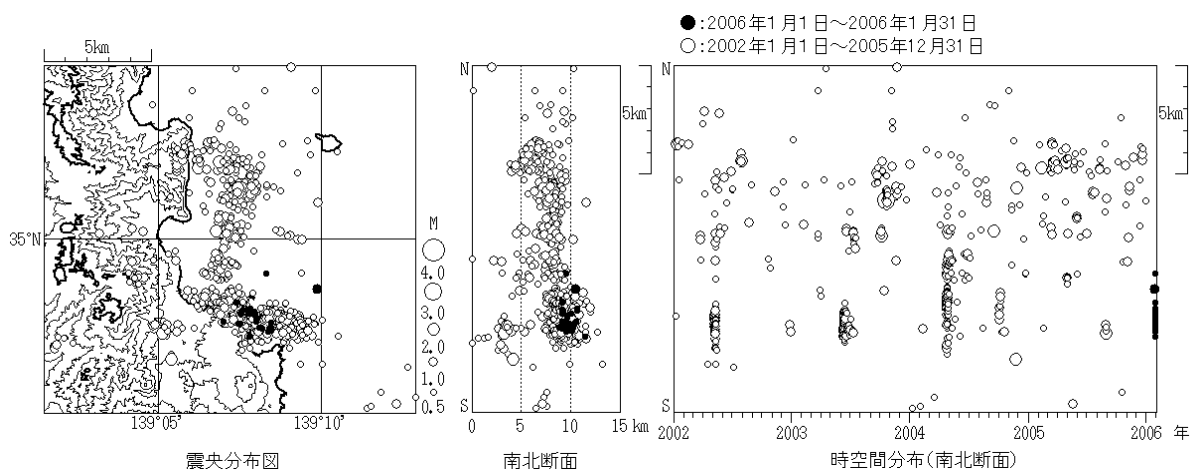


図 1※ 伊豆東部火山群 震源分布 (2002 年 1 月～2006 年 1 月)

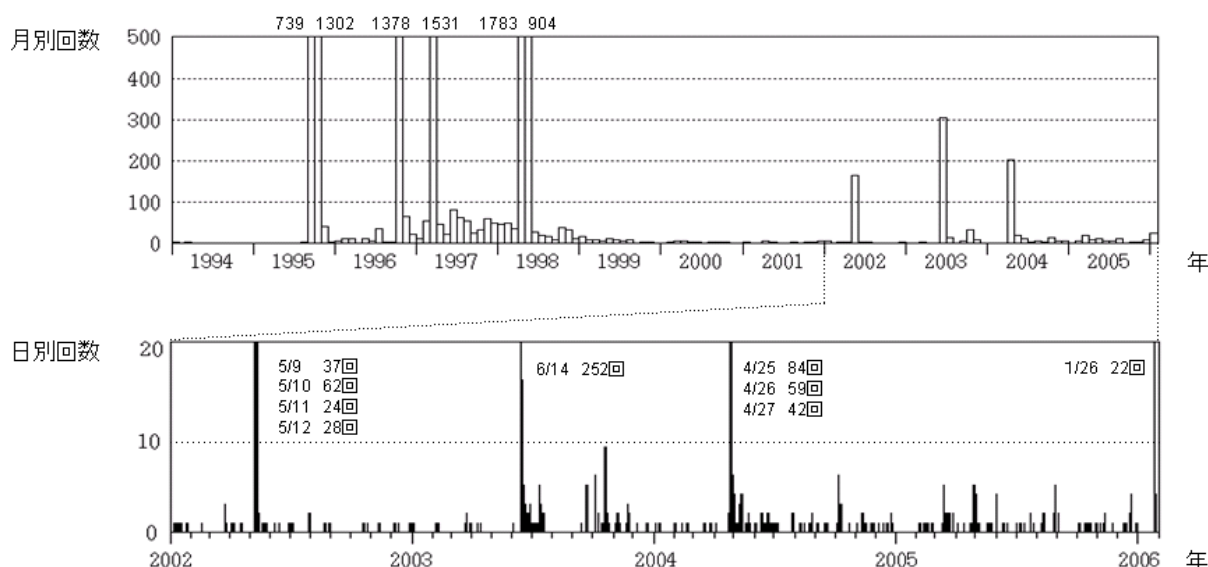


図 2※ 伊豆東部火山群 図 1 の領域内に発生した M (マグニチュード) 0.5 以上の地震回数
 上段：月別地震回数 (1994 年 1 月～2006 年 1 月)
 下段：日別地震回数 (2002 年 1 月～2006 年 1 月)

※この資料は気象庁のほか、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』、『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 17 総使、第 503 号)。

○噴煙の状況

伊東市役所に設置している遠望カメラでは、噴煙は観測されませんでした。

○地殻変動の状況

地震の増加に前後して、東伊豆町に設置している体積歪(ひずみ)計に縮みの変化がみられ、伊東市に設置されている防災科学技術研究所の傾斜計にも変化がみられました。また、GPS連続観測(図3)では、火山活動によると考えられる変動は認められませんでした。

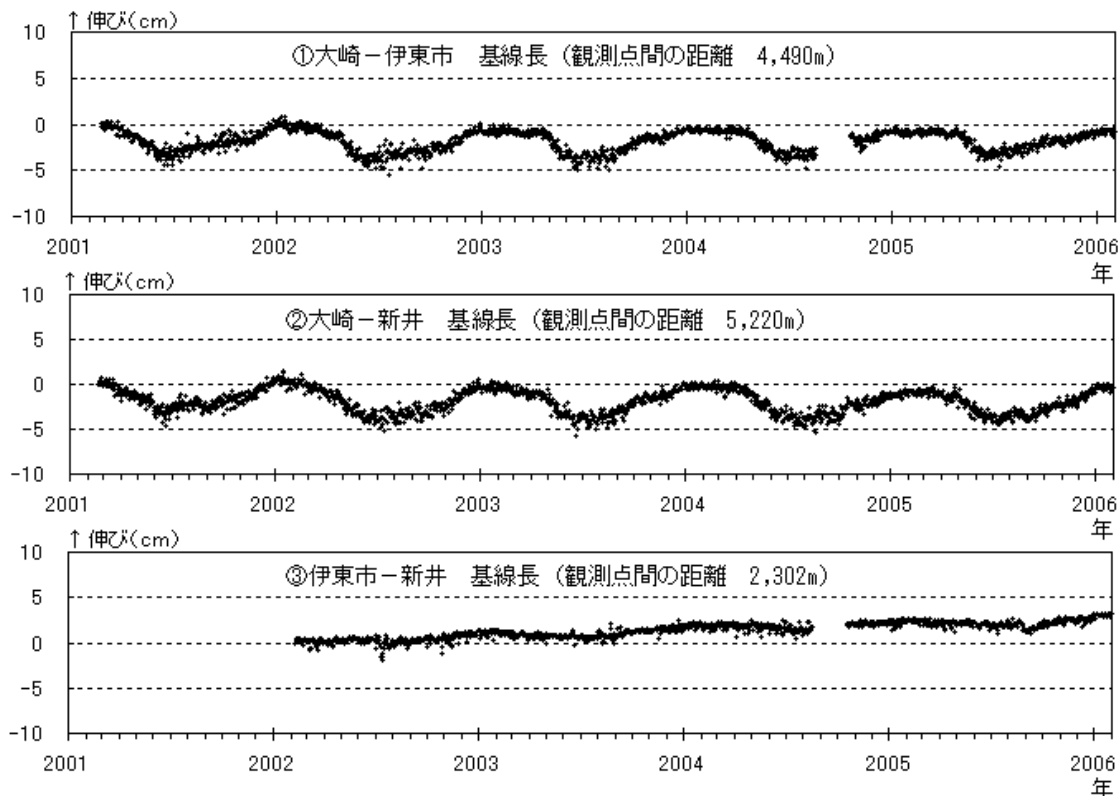


図3 伊豆東部火山群 GPS連続観測による基線長変化(2001年2月~2006年1月)
基線長変化に見られる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。

○観測点情報

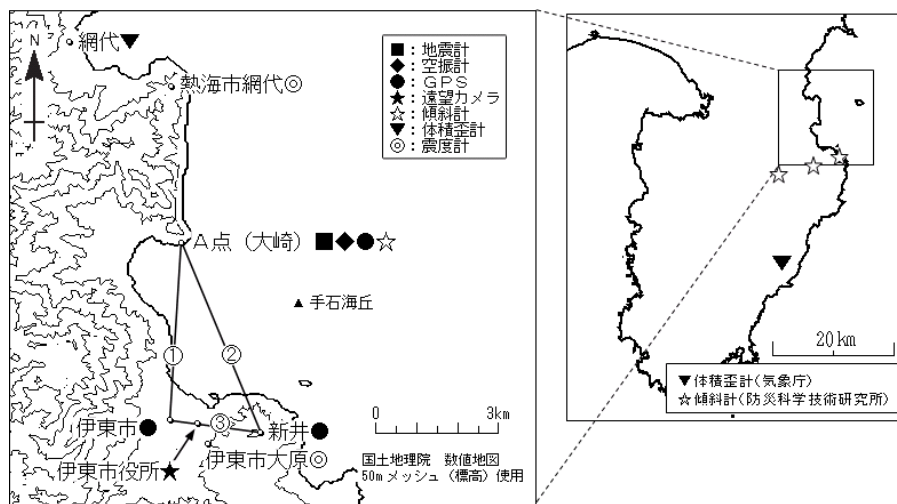


図4 伊豆東部火山群 気象庁の常時観測点配置図